

ゆもと
良太郎

38歳



前大田区議会議員(2期) 大田区へ政策提言

● ゆもと良太郎 プロフィール ●

昭和51年5月10日

大田区大森生まれ(おうし座A型)。大森幼稚園・大森第五小・日大三中・日大三高を経て明治大学商学部貿易コース卒。大学在学中より都議会議員秘書となる

平成15年4月

大田区議会議員選挙に自由民主党公認若干26歳で初出馬、初当選(5536票)66候補者中3位

平成19年4月

大田区議会議員選挙にて、2期目の当選(5419票)

平成22年6月

自由民主党離党

平成23年4月

大田区議会議員として2期8年間区民のみなさまのために働かせていただきましたが、大田区の行政運営に疑問を感じ、大田区議会議員3期目の選挙を出馬せず、大田区長選挙に出馬(1000億円を超える巨大ハコモノ計画、区職員天下り先の外郭団体拡充計画に真っ向から反対の意を唱える。また、積極的に民間投資を大田区に集める区政運営を提言)するも当選ならず。しかしながら、同区長選挙後、巨大ハコモノ計画、区職員天下りの外郭団体拡充計画はともにSTOP(進展していない)

平成23年6月

苦杯を嘗めた区長選挙後、サラリーマンとして働きながら社会活動に積極的に参加をする。また、衆議院議員渡辺孝一代議士事務所スタッフとして、事務所運営のお手伝いをしながら国政と地方自治の運営について学ばせていただく

平成26年

日本政策学校に入学し、金野索一氏に師事し政策について学ぶ。地元大田区で生まれ育ち、2児の父親として大田区で子育てをし、改めて地域社会の大切さを知りました。みなさまと共に、より良い大田区をつくるために熱い思いで活動中

お気軽にお問い合わせ下さい

ゆもと良太郎事務所

〒143-0011 東京都大田区大森本町2-31-10

TEL.03-3765-1464 FAX.03-3765-1482

<http://www.yumoryo-otacity.jp>

info@yumoryo-otacity.jp

少子化対策

ゆもと良太郎38歳。2児の父親として子どもを産み育てやすい街「大田区」を目指し、元気な子供の声と見守る大人の笑顔があふれる街にします。

●周産期医療の充実に取り組みます。

周産期医療問題は単なる医師不足ではなく、医療保険制度や法律などの社会制度、国や地方公共団体のサポートが必要な状況にあります。何より妊婦の近くに医療施設が存在している必要があります。大田区として医療資源の効率的な活用が可能なシステムを作ります。

●不妊治療に取り組む家族を応援します。

近年日本では、10組に1組の夫婦つまり1割もの夫婦が不妊と推定されています。東京都は現在高額の医療費がかかる特定不妊治療について医療保険が適用されない治療一回につき最大20万円まで助成されます。これに大田区独自の助成を行います。

子育て支援

働きながら子育てをする家庭が増えていきます。子育てと仕事の両立を図れる社会を目指します。

●放課後保育の環境と内容の充実を図ります。

全国に約2万ヶ所80万人以上の子供たちが利用している学童保育ですが(2010年統計)、方針は各運営に任されています。そこでここ大田区においては保育の場に加え、学びの場としての学童保育を目指し共働きの家庭や母子・父子家庭の子供たちに安心安全な学べる放課後保育の実施を目指します。

●保育園の待機児ゼロを目指します。

親御さんへの詳細な聞き取りを行い大田区の地域情報を基にした施設整備をし認可保育所の新設・拡充を進めます。また、子育て支援をしてくれる人材の発掘と育成を促進し、保育ママの人員増を目指します。

教育

次の世代を支える人材を育てるために、教師が生徒にもっと向き合える教育現場を作ります。

●学校現場の事務軽減を図るため、事務員の配置をします。

先生が生徒に対してきめ細かな学習指導を行えるよう、これまで先生が負担していた事務の軽減を図り、かわりに事務処理の効率・集中化を図るために事務職員の配置を進めます。

●習熟度別の学習環境をより充実させます。

生徒の理解は一樣ですが、理解できない子供の困難は多様です。習熟度に合わせた学習環境を設定し、多くの納得する楽しみが生まれる学校を作ります。

●文系強化校・理系強化校・体育強化校・特別進学校・英語教育重点校など得意分野をより伸ばせる学校作りを目指します。

大田区に愛着をお持ちの皆様と共に大田区の更なる発展の為、必ずや皆様のご期待に応えられる様、これからも政治活動を続け懸命な努力を重ねて参りますこととお誓い申し上げます。

ゆもと良太郎